

広報 しんじょう

9
2012

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.657

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索

検索



特集

いざという時のために

～自主防災組織の大切さ～

心のサインを見逃さないで

10月よりかむてんナンバープレートの交付を開始します！



■平和都市宣言旗[生命樹]

新庄市平和都市宣言を象徴する旗。青空に力強く伸びる大樹と生きることの尊さを表現。昭和59年5月26日から市庁舎前に掲揚している。





いざという時のために ～自主防災組織の大切さ～

平成23年度から10年間にわたって、市政運営の基本指針となる「新庄市まちづくり総合計画（第4次新庄市振興計画）」の中で、市民が安心して長く住み続けることができるように重点的に取り組む施策を、「安全・安心充実プロジェクト」に位置づけています。昨年の市報12月号では、そのうち「公共交通」と「除雪」に関する取り組みについて紹介しました。今回は、東日本大震災でも関心の高まった「地域主体の防災体制づくり」について紹介します。

■災害対策の基本 「自助・共助・公助」

災害による被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助それぞれが役割を理解し、連携することが重要だと言われています。

「自助」とは自分の身は自分で守ること。そして、「共助」は、自分たちの地域は自分たちで守ること。「公助」は、行政や防災関係機関による救助や援助のことを言います。

地域主体の防災体制づくりは、まさに共助を代表する取り組みです。

■共助の大切さ

共助の基本は「ご近所の助け合い」です。

大規模な災害では、警察や消防など地域の防災機関が、同時にすべての現場に向かうことは不可能です。自分で身の安全を確保するか、家族や近所の人に救出してもらうしかありません。

救出活動も消火活動も、大勢の人が参加し、迅速に行うことで被害を小さく抑えられます。災害時に円滑に協力するためには、普段からの近所での交流が重要です。

■自主防災組織の役割

ご近所の助け合いを組織化し、地域住民一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い気持ちを持ちながら、地域ぐるみで防災活動を行うのが自主防災組織です。

自主防災組織が災害時に行う活動には、火災を防ぐこと、情報を伝えること、避難誘導や被災者を救助し応急手当をすること、食べ物、飲み水を配ること、危険な箇所を見回ることなどがあります。

これまでの大きな災害では、地域の人たちが協力し合って、バケツリレーなどで火災を食い止めた人たちが救出し、多くの人命を救いました。自分たちの地域を災害に強くするためには、自主防災活動を活発にするとともに、日ごろから、消防団、事業所などとお互いに協力しあうことが大事です。

自主防災組織の立ち上げには、地域住民の協力体制の構築が不可欠です。今回は、いくつかの地域を取り上げ、組織の立ち上げや具体的な活動内容などを紹介し、自主防災組織の必要性について考えます。

安全・安心充実プロジェクト

設立から30年



昭和58年設立 「川西町防災・消防隊」の取り組み

【自主防災組織設立の経緯】

昭和46年、既存の2つの町内から独立し、翌年には川西町町内会の自治会が結成されました。以降、年々世帯数が増えて大きくなり、町内の体制が整うにしたいが、「町内に防災組織が必要ではないか」という声からともなく聞かれるようになってきました。その声を受け、町内会役員会が中心となって設立に向けて動き出しました。

町内会が結成されてから約10年後に、拠点施設(防災センター兼公民館)を建設し、「川西町防災消防隊」の組織体制を整え、運営規則を制定しました。本隊が結成されたのは、町内の熱い思いと、町内会役員の尽力によるものでした。

【活動内容】

最近実施している活動は、大きく「防火への環境整備」と「防災・消防訓練」の2つです。

①防火への環境整備

各家庭への消火器・火災報知器のあっせんと町内6区に消火器設置を行っています。

②防災・消防訓練

●安否確認訓練／訓練当日の午前9時に隣組長が担当地区の家庭を訪問し、家族人数・在宅数・不在者数・不在者で居場所のわかる人数・不在者で居場所のわからない人数・その他の情報などについて安否確認報告書に記録し、本部に届ける。報告書は整理保存し、今後に活かす。

●避難・誘導訓練／すべての安否確認表を集約した後、公民館から避難場へポンプ車と共に移動する。

●ポンプ車放水訓練／河原橋南側の広場において、機材班長の合図で放水体制をとり、放水の訓練を行う。

●初期の消火訓練／家庭から提供された廃棄もしくは薬剤詰め替えの消火器を使って初期消火訓練をする。提供された消火器の薬剤詰め替えに対しては、町内会より半額補助をする。

●炊き出し訓練／婦人部が中心になって、訓練参加者全員におにぎり等を配る。

●防災教室の開催／環境課より職員を派遣してもらい講話を聴く。



▲防災・消防訓練に向けた役員会(8月3日)



▲防災・消防訓練での安否確認報告(9月2日)



▲防災・消防訓練で避難・誘導訓練に出発(9月2日)

「減災は住民の絆」

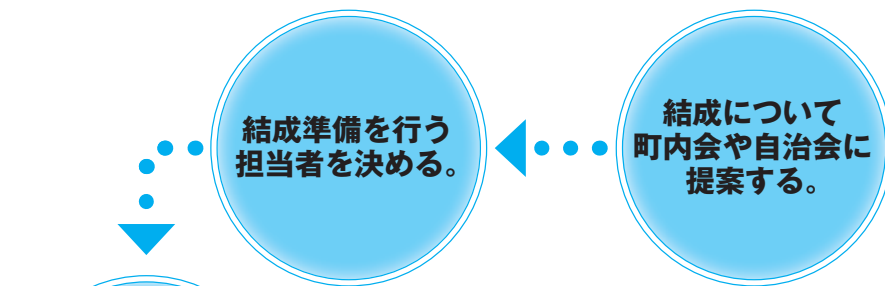
川西町町内会 会長 中野光雄さん



が大切になるのかと考えています。

今後、この訓練をしばらく続けていき、自然災害初期対応の習慣化を図りたいと考えています。また、これまで、訓練への参加者が減少傾向にあり、課題として引き継がれてきていましたが、隣組長が各家庭を訪問する安否確認訓練によって、何らかの形で全家庭がこの訓練に参加することになり、町内全体の防災意識の向上や、町内の絆を強めることにもつながると期待しています。そのため、日ごろの町内のコミュニケーションが大切になるのかと考えています。

川西町内では、昭和五十年代後半から毎年九月第二日曜日に、防災・消防訓練を行ってきました。その内容は、防火・火災対応が中心の訓練でした。この訓練を重ねることにより、町内の防火意識の高揚に大きな役割を果たしてきました。しかし、昨年の東日本大震災を経験し、「地震・自然災害への対応も考えていかねばならないのではないか」という住民の声も支えにして、昨年より地震を想定した訓練として、新たに「安否確認訓練」を取り入れました。



GOAL!

※流れは一例です。

設立して3年目



御堀端自治会 会長 金 利寛さん

平成22年設立 「御堀端自主防災会」の 設立まで

「御堀端自治会」は東・西・中・南の4地区からなっています。 金会長に自主防災会設立までの経過についてうかがいました。

Q いつ頃から「自主防災組織」について町内で話し合いがもたれましたか？

A 6年ぐらい前から、地域の自主防災は、必ず必要であるとの話し合いがなされ、理事会、役員会などで、何度となく話し合いをもちました。ただ、さしあたって何を するかとなると、活動が多岐にわたっているし、自治会本来の行事もたくさんある ため、実際の設立が先送りになっていました。

3年ぐらい前から、自治会総会資料に自主防災会規約、防災計画、組織図、緊急連 絡網などを入れて自治会の気運を盛り上げてきました。まだまだ未完成だった御 堀端自主防災会でしたが、平成22年度県と市の合同防災訓練で「御堀端自主防災 会」の旗を作っていただき参加しました。

Q 防災訓練に参加して問題点など見つかりましたか？

A 施設から車いすでの避難は訓練だからまだいいが、実際に震災が起こったら こんなに整然とは避難できない。パニックは避けられないと実感しました。

Q 昨年の東日本大震災で地域の防災意識は変わりましたか？

A 大震災発生を受け、自主防災組織の必要性の空気は一変し、早急に隣組地域防 災を考え実行に移そうと、まず南区が動きました。南区長の井上さんが中心とな り、隣組長と連携し、実際に1戸1戸確認を取りながら、連絡網を完備しました。訓 練も行い、連絡網での連絡がどれくらいの時間で行き届くかも確認しています。そ して、ほかの3区もこれに倣い連絡網ができました。

Q 現在の活動や、今後の展開について聞かせてください。

A 昨年12月には、各地で被災者支援を行っているNPO法人の千川原公彦氏を 講師に招き、公民館で「地域で考える防災」をテーマに研修会を行いました。御堀端 自治会の自主防災の今後の進め方も含め、被災地の現状と課題や具体的な避難誘導の 方法などについて学ぶことができました。

市のアドバイスもあり、今後はより正確な 連絡網を整備したいと考えています。震災時 は、隣の人の声掛け、避難誘導などを行い、 「安全・安心」が行き届く町内会を皆で築きあ げていきたいと強く思っています。



安全・安心充実プロジェクト

設立が決まりました



「鉄砲町らしい自主防災組織」を作るために頑張っています。

上鉄砲町区長 鈴木信夫さん(写真左)

下鉄砲町区長 溝延信也さん(同右)

「最初にとりあえず『きまり』だけ作って、組織ができましたではなく、実際に機能する鉄砲町流の自主防災組織を作りたいと考えています」そう話す鈴木さんと溝延さんは区長になって共に二年目。一緒に区長になったのをきっかけに、自主防災組織結成に向けた取り組みを始めました。

「まず、最初にしたことは年に二回の懇親会を実施すること。鉄砲町は上下合わせて約一〇〇世帯あります。町内の人が集まることで、自分たちも顔を覚えられるし、町内のコミュニケーションが図られると考えました。何より『つながり』が大事ですからね」

今年、町内会の役員会での話し合いを経て、自主防災組織作りに取り組むことが正式に決まりました。「組織は少しずつ形にしていけばいいと思っています。今年は、手始めに隣組長の協力を得ながら、

町内会の名簿を作成します。鉄砲町でも高齢化が進んでいるので、地域での助けが必要な方など、いざというときに役立つ情報を盛り込んで作ろうと考えています。さらに、その情報や危険箇所などを入れた、地区内の住宅地図を作成中です。今後は組織の役割や担当などの選定も必要になります。町内会活動で女性のパワーを改めて感じたので、女性の皆さんに頑張っていたいただくことが組織成功の秘訣だと思います」両区長が協力し、町内の実態に則した組織を作ろうと、現在奮闘中です。

■「自主防災組織」新庄市の現状

ここで紹介したように、新庄市にも町内会などを単位にした自主防災組織が現在四十一あり、新たに組織化を目指している町内もあります。

しかし、これは他自治体に比較して、著しく低い数値です。県の調査では、自主防災組織の県内組織率(平成二十四年三月末現在)は、七十五・七%。最上地区は県内でも組織率が低く、四十八・八%にとどまっています。その中でもとりわけ新庄市は二〇・九%と低さが際立っています。

■自主防災組織の必要性

近年、社会の高齢化が進み、一人暮らしの高齢者も急増しています。大災害で亡くなったたり負傷する方の多くが、高齢者や障がい者です。そうした被害を最小限に食い止めるためにも、日ごろから地域で支え合う体制を整えておくことが大切です。

災害が大きくなれば、被害も大きく被災者も増大します。交通網の寸断や停電、電話の不通などによる情報の混乱や、防災関係機関が素早く対応できないことなども想定して、被害の拡大を防がなければなりません。

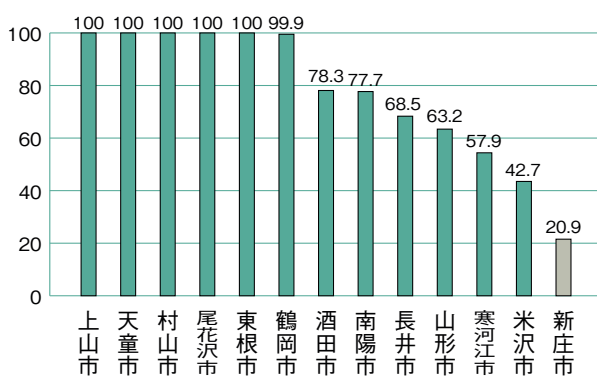
「自分たちの地域は自分たちで守る」という理念のもと、地域全体で災害に備える体制づくりが必要なのです。

市では、地域での自主防災組織づくりを支援するため、防災に関する出前講座を実施したり、防災用品などの整備経費に助成する「自主防災組織育成補助事業」を行っています。

詳しくは、環境課にお問い合わせください。

◎環境課地域防災室 ☎内線 435

県内13市の自主防災組織率(%)



心のサインを見逃さないで

～あなたも「ゲートキーパー」になりませんか～



▲自殺や心の問題に理解を深めてもらいたいと話す佐々木氏(7月4日/ゆめりあ)

全国の年間自殺者数は平成10年に急増して以来、平成23年まで14年連続で3万人を超えています。平成23年は前年に比べ、1,000人ほど減少し30,651人となったものの、それでも高い数字です。これを受け、自殺を未然に防ぐ対策として、「ゲートキーパー」の養成が行われています。

「ゲートキーパー」の役割などを紹介しながら、自殺予防について考えます。

■「ゲートキーパー」について

自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。平成十九年閣議決定された「自殺総合対策要綱」の中で、九つの当面の重点施策の一つとして、「ゲートキーパー」の養成が掲げられました。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる人のこととで、日本語にすれば「命の門番」。大切な命を守るため、ゲートキーパーの役割は、大きく次の四つに分けられます。

●**気づき**…家族や仲間の変化に気づいて、声をかける。

●**傾聴**…本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。

●**つなぎ**…早めに専門家に相談するように促す。

●**見守り**…温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。

「ゲートキーパー」は特別な資格ではありません。その意識を多くの方に持っていただき、それぞれの立場で、できることから進んで行動を起こしていくことが、自殺対策につながっていくのです。

■ゲートキーパー養成講座

新庄市でも、七月四日、三〇日の二日間、ゆめりあを会場に「ゲートキーパー養成講座」が開催されました。参加者は二日間で延べ一〇〇人にのぼり、関心の高さがうかがえました。

第一回講座は、秋田大学医学部准教授・佐々木久長氏が「みんなを取り組む自殺予防〜こころのサインに気づいたら〜」と題して講演を行いました。自殺は身近な問題であることから、「ゲートキーパー」が果たす役割が重要であることなどが話されました。

第二回講座では、新庄明和病院臨床心理士・小沼千恵氏が「傾聴」のポイントや自殺を防ぐために周りの人ができることなどについて、実技を交えながら講演を行いました。

参加者アンケートには、「心の病気への対応が身体の病気以上に難しいとつくづく感じた」「参考になる部分がたくさんあり、少しでも相手に寄り添った関わりを目指したい」などの感想がありました。受講してすぐ「ゲートキーパー」としての意識を持つのは難しいかもしれませんが、悩んでいる人に手を差し伸べたいという気持ちを持



▲小沼氏の講座では講演のほか、実践的な研修も行われた(7月30日/ゆめりあ)

つことが大切です。

ここでは、内閣府で作成した「ゲートキーパー養成研修テキスト」の中から、ゲートキーパーとしての心得を紹介します。「ゲートキーパー」に興味や関心を持った方は、健康課にお問い合わせください。

なお、次回のゲートキーパー養成講座の開催は、来年度の予定です。

■地域の相談窓口を知る

「ゲートキーパー」としての心得にもあるように、ひとりですべての問題を解決できるわけではありません。そのため、地域にどんな相談窓口があるのか知っておくことも必要です。市健康課でも次の相談事業を行っています。

ゲートキーパーとしての心得

■自ら相手と関わるための心の準備をする。

「今から相手の話を聴く」という心の準備をすることが大切です。心の準備ができていないと、相手の話に動揺したり、拒絶するというような不適切な対応をとってしまう場合も少なくありません。

■温かみのある対応をする。

悩みを抱えている人は苦勞を抱え、辛い状況に陥っているため、穏やかで温かみのある対応が原則です。温かみのある対応は困難を抱えている人の大きな支援になります。

■真剣に聴いているという姿勢を相手に伝える。

相手にしっかりと向き合う、相手の話に相づちをうつなどこちらが真剣に聴いているという姿勢が相手に伝わるのが大切です。相手は支援者の聴く姿勢により、悩みを話すことが促され、安心して悩みを話すことができるようになります。

■相手の話を聴く。

最初に話を聴く場合には、相手が体験したことや考えていること、感じていることを十分に聴きましょう。正しいかどうか、良いか悪いかを判断したり、批判はしないようにしましょう。「話を聴くだけでは何もならない」と感じる支援者もいますが、傾聴は危機にある人への最大の支援です。「話を聴いてもらうだけで安心した」とおっしゃられる方も多いです。

■ねぎらう。

話をしてくれること、死にたい気持ちを打ち明けてくれたことをねぎらうとよいでしょう。また、たとえ本人の失敗から至った困難でも、これまで苦勞してきたことをねぎらうことが大切です。

■心配していることを伝える。

悩んでいる状況を無視せずに、相手の状況を心配していることを伝えましょう。

■わかりやすく、かつゆっくりと話をする。

悩んでいる人はいろいろな感情が沸き起こるため、一度にまくしたてるような話は理解できず、また受け止められない場合があります。穏やかな態度で、普段話すスピードの半分くらいのつもりで話すことが大切です。また、相手の反応を見ながら、一言一言話すことも必要です。

■一緒に考えることが支援。

悩みを抱えている人は苦勞を抱え、辛い状況に陥っているため、穏やかで温かみのある対応が原則です。温かみのある対応は困難を抱えている人の大きな支援になります。支援者の中には、「自分は支援など何もできない」と思う人もいますが、一緒に考えてくれる人がいることは、孤立を防ぎ安心を与えます。

■準備やスキルアップも大切。

日ごろから自殺対策や相談窓口のリーフレットを持参したり、スキルアップの研修を受けたり、新聞等のニュースに関心を払っていることなどは、いざ対応する、という場面で役立ちます。問題の解決に日ごろ得ている情報が役立つ場合があります。

■自分が相談にのって困ったときのつなぎ先を知っておく。

すべての問題を解決できる支援者はいません。どこに相談したらよいか、地域の相談窓口等を事前に確認しておくとういでしょう。

■ゲートキーパー自身の健康管理、悩み相談も大切。

支援者自身が安心して暮らせることも大切です。また、日ごろから健康面にも注意を払いましょう。休養や日ごろのストレス対処も大切です。自らが困ったときには信頼できる人に相談しましょう。

※内閣府作成「ゲートキーパー養成研修テキスト」より

健康課の相談事業

相談名	日時	場所	申し込み
こころの健康相談	毎月1回 (精神科医師または臨床心理士) 13:30～15:30	ゆめりあ会議室	開催日の5日前まで
多重債務相談	毎月第3金曜日 (司法書士) 19:00～21:00	市民プラザ	開催日の前日まで
保健師による個別相談	随時(電話・面談)	健康課または保健センター	

※いずれも、詳しい内容・申し込みは健康課(☎内線516)へ。相談はすべて無料・個別相談です。個人の秘密は厳守しますので、お気軽にご利用ください。

かむてんナンバープレートの交付を開始します!

(原付バイク50cc)



市で交付する原動機付自転車(50cc以下または定格出力0.6kW以下のみ)のナンバープレートは、地域性をアピールするため、新庄市独自のデザインによる左のかむてんナンバープレートに変更します。

10月1日以後の新規登録はすべてこのデザインになります。なお、ナンバーは受付順となり、希望ナンバーの指定はできませんのでご了承ください。

かむてんナンバープレート(標識)交付手続きについて

10月1日(月)から、税務課課税室(①窓口)で交付開始します!申請に必要なものは次の通りです。

なお、現在使用している旧ナンバープレートは引き続き使用できます。

●新規登録の場合

- ①所有者及び使用者の印鑑(認印でも可)
- ②車台番号など車両情報の分かるもの
- ③代理申請の場合、届出者の印鑑(認印可)

●現在のナンバープレートから交換する場合

- ①自賠責保険証
- ②所有者及び使用者の印鑑(認印でも可)
- ③旧ナンバープレート
- ④代理申請の場合、届出者の印鑑(認印可)



◎詳しくは、税務課課税室へ。☎内線153・141

老人クラブ
活動紹介

世代間交流を進めています

核家族化が進み、高齢者と子どもたちがふれ合う機会が減っています。

こうした中、昨年、日新中学校区の会員と日新小アウトドアクラブの子どもたちとの交流会が行われました。子どもたちと一緒にグラウンドゴルフを楽しむことで、「元気と笑顔をたくさんもらった」という声が多く聞かれ、子どもたちとのふれあいが生きがいにもつながっているようです。

今年度は、老人クラブ連合会が主催し、規模を拡大した世代間交流事業も行っていく予定です。



クラブ会員は随時募集しています。

お住まいの地域の老人クラブへ直接お申し込みください。

申し込み先がご不明の場合は新庄市老人クラブ連合会にお尋ねください。

◎詳しくは、新庄市老人クラブ連合会事務局へ。

〒996-0085 新庄市堀端町3番4号 新庄市老人福祉センター内 TEL/FAX 23-4613

三浦友加さん、 新庄まつりをピーアール!

今年も頑張った山形住みま
す芸人の三浦友加さん。
今回は、清水川町若連と
一緒に山車制作しながら、
新庄まつりをPRしてくれ
ました。

- ブログ「へずげだものす〜らば〜や」で
情報発信中! <http://miura-yuka.laff.jp/>
- ユーストリームで情報発信中!! <http://www.ynn47.jp/yamagata/>



◀清水川町若連の鯉づくり
名人に師事し、山車を飾る
鯉を作ることに。できた作
品は、なんと自分の顔をモ
チーフにした「人面鯉」。



▲清水川町山車
小屋でFM山形
の番組ラジオロ
イドに出演し、
新庄まつりを宣
伝中。



▲新庄まつり当日、熊谷アナウンサーのアシスタントとして、YTSの新庄まつり特別番組撮影をお手伝い。実は祭り直前にアクシデントに見舞われた三浦さんですが、それにもめげず頑張ってくれました。

市長コラム 特別編

市長、新庄まつりの 取材に挑む!



最近、写真撮影に凝っている
市長。使っているカメラは、心
臓部の部品を市内の企業が製
造・納品している製品です。新
庄まつりでは、このカメラで取
材に挑みました。



めざせ! 光熱費
削減2万円!



無理をしない
我慢しない

省エネ

監修/栗田電気管理事務所
代表 栗田晃一 氏
出典/(一財)省エネルギーセンター発行
「家庭の省エネ大事典2011年版」

レッスン6 ~冷蔵庫の省エネ講座 その2~

冷蔵庫の設定を強から中
に。熱い物はさましてから
保存しましょう。

麦茶やカレー、シチューなど、温
かいものをそのまま冷蔵庫に入れ
ていませんか? 庫内の温度が上がり、
冷やすのに余分なエネルギー
が消費されるのでご注意ください。

👉省エネ効果をCHECK!

- 周囲温度22℃で設定温度を「強」から「中」にした場合
- 年間で電気61.72kWhの省エネ
約1,360円の節約
原油換算15.55ℓ
CO²削減量21.6kg

もっと省エネ!

冷蔵庫は、壁から適切な間隔をとって
設置しましょう。さらに省エネになりま
す。年間で電気45.08kWhの省エネ、約
990円の節約

★目標★光熱費年間2万円削減!

今月の削減金額 **¥1,360**
今までの削減金額 **¥13,000**

子育ての輪

しんじょう

わらすこ広場における子育てサークルの活動は、これまで紹介したように大変活発に行なわれています。交流が深まり、利用者同士や、利用者と職員とも親しくなっています。

親が子どもたちの遊ぶ姿を見守り、声を掛け合い楽しむ様子がとても微笑ましいですし、みんなでテーブルを囲み、おやつを食べながら、お弁当を食べながら、子育ての不安や小さな悩みなどを共有しているようで、不安を言葉にすることで、子育ての先輩ママからアドバイスをもらい納得したり、サークルの仲間で解決していることも多々あるようです。

新庄市地域子育て支援センターでは、地域における身近な窓口として相談に応じています。これまでに受けた様々な相談内容について、触れていきたいと思います。

「言葉の発達」

今回は、二歳から三歳までの子どもで、言葉が単語しか出ないので心配。三歳児健診までには話せるように・・・と悩んでいたお母さんの方が多く、言葉の発達の悩みについてお話ししたいと思います。

言葉の発達というと、言葉が言えるかどうかだけに注意が向けられがちですが、言葉の発達は、体の発達以上に個人差が大きいです。多少遅いと感じても、次の三つの条件を満たしていれば、あまり心配することはありません。

- ① **耳が聞こえている**
耳の後ろで、子どもの名前を呼んでみたり、カステネットや鈴など音の出るものを鳴らしてみ、振り向く。電話が鳴ったとき、そちらの方を見るなど、音に反応する。
- ② **大人が話していることを理解できる**
「ごみ、ポイしてきてね」と言っていると捨てられたり、「お出かけするよ」と言うと玄関で待っていたり、話していることがわかっていての様子を見せる。
- ③ **一緒に遊べる**
「ちゅっだ」「はーん」「おもちのやりとりができたよ」「ほっ、だよ」と大人が指さしたものをみるなど、いっしょに楽しく遊べる。

あそびの広場と子育て相談

- 保健センター／9月25日(火)・10月9日(火)午前・午後
- わくわく新庄／10月2日(火)・16日(火)午前
- 萩野地区公民館／10月4日(木)午前
- 本合海児童センター／9月20日(木)午前
- 萩野児童センター／9月21日(金)午前

※ 午前＝10時～11時30分／午後＝1時30分～3時30分

- わらすこ広場／水曜日と元日を除く毎日 午前10時～午後6時



▲「遊学の森で遊ぼう」講座に参加した親子。わらすこ広場では、このような親子で楽しむ講座を開催していますので、ぜひご参加ください。

◎詳しくは、新庄市子育て支援センター(わらすこ広場内へ) TEL & FAX 22-5115

小ネタでふるさとめぐり

第6回 乱馬堂遺跡らんぼ



▲発掘作業をする人たち(ふるさと歴史センター展示写真)

東山公園にほど近い、閑屋横前地区にある「乱馬堂遺跡」で、今から一万五千年ほど前の後期旧石器時代の石器が四千八百点超と大量に発掘されている。小字名からすれば正しくは、「乱馬堂」だが、以前から「乱馬堂遺跡」名で知られていた。そのため訂正できずにいるようだ。

実はこの乱馬堂という小字名は、七所明神の伝説に由来する。八月号の続きになるが、大山守命を都から追ってきて命を奪ったのが濫番連臣という人で、連臣は、皇子を殺した罪を償うため、都に戻らずこの地で一生を終えた。村人たちはそれを憐れみ、閑屋に濫番連臣堂を祀り、その霊を慰めたというものだ。そのお堂は今も無いが、閑屋入り口に「連臣宮」という石碑がある。

乱馬堂遺跡の発掘調査では、四方に掘を巡らした中世の館跡も発見されたがその掘の中から板碑状の石が掘り起こされた。館跡を濫番連臣堂跡とするのは無理があるかもしれないが、乱馬堂で掘

今月の本

9月の
おすすめ



『ミッフィーとフェルメールさん ～子どもと絵で話そう～』

美術出版社／出版

子どもと一緒に絵を鑑賞したら、どんなに楽しいことでしょうか。まっさらな目に映る名画はきっと「なぜ?」「なに?」でいっぱい。オランダを代表する画家・フェルメールの絵をミッフィーと一緒に見ていきましょう。

今月のテーマ展示

『防 災』

東日本大震災で防災への意識が高まっていますが、改めて自宅や職場の点検をしてみたいかがでしょうか。図書館では「防災」に関わる本を展示しています。思わぬ出来事は突然起こるもの!「備えあれば憂いなし」です!


●児童図書●

ルルとララのしらたまデザート……あんびる やすこ
ドラキュラなんてなりたくない!!……藤 真知子
おねえちゃんって、もうたいへん!……いとう みく
みんなのはなび……おくはら ゆめ
おぼけのcockさん……西平 あかね
おいもさんがね……とよた かずひ
うまれる……中川 さくたろう
飛び出す! びっくり! 3D水族館～3Dビューアで見よう!～……学研教育出版
ものまね名人ツノゼミ……森島 啓司

●一般図書●

地の中の異国……永山 一郎(金山町出身)
漏洩……笹本 稔平
窓の向こうのガーシュウィン……宮下 奈都
ダンス・ウィズ・ドラゴン……村山 由佳
実験的経験……森 博嗣
ミツカン社員のお酢レシピ～毎日大さじ1杯のお酢で、おいしく健康生活～……幻冬舎
トマトをたくさん食べてきれいになる!……村田 裕子
腸を切った人を元気いっぱいにする食事170
……主婦の友社
東京スカイツリーに男泣き!～東京スカイツリー公認～……見ル野栄司
「働くパパ」の時間術～仕事も家事も育児もうまくい!～……栗田 正行
人生で大切なことは雨が教えてくれた
……ドミニック ローホー
猫弁と透明人間……大山 淳子
レスキュー・ハンドブック～野山・水辺ですぐ役立つファーストエイド&レスキューの最新テクニック～……藤原 尚雄
清須会議……三谷 幸喜
烈しい生と美しい死を……瀬戸内寂聴
花のさくら通り……荻原 浩
花宴……あさの あつこ
鍵のない夢を見る……辻村 深月

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
◎市立図書館 ☎22-2189



蔵書検索



このコーナーでは、NPOなどの市民活動団体に関する話題と、地域住民による地域づくり活動に関する話題をそれぞれ交互に紹介していきます。

活動団体編 地域づくり編

協働ってなに?

まちづくりの話題でよく出てくる「協働」という言葉。わかってはいるようではっきりしない言葉です。「共同」でもないし「協同」でもありません。「協働」とは何なのでしょう。

市では、「市民と行政が、それぞれの特性・役割・能力を認識・尊重し、相互に連携・補完しながら、共通の課題解決や目的達成のために尽力し、共に責任を分担し、相乗効果を生み出しながら協力すること」であると考えています。ごく分かりやすく言うならば「まちづくりのため、市民と市役所と一緒に汗をかきましょう」ということです。

平成23年3月に策定した、新庄市まちづくり総合計画では、将来像として、「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち新庄」を掲げています。そのための基本となる目標が5つありますが、それらを下で支える基礎、あるいは土台として「協働によるまちづくり」を位置づけています。

本市における協働による取り組みは、公園管理など、一部進んでいる分野もあるものの、全体的にはまだ進んでいません。しかし、地域の課題が多様化し、また、昔ながらの「地域社会」の維持が難しくなっている今こそ、市民(または市民団体)と市役所の協働による地域づくり、まちづくりが必要なのです。



▲御堀端自治会と市による公園清掃(8月19日)

◎詳しくは、総合政策課地域支援室へ。☎内線217

り起こされたことを考える、何らかの関わりがあるのではないかと、関屋地区の人々が、その板碑状の石をご神体とし、お堂を建てて祀った。こうして濫番連臣堂が復活されたのだが、このお堂を参詣する人は、七所明神をお参りしてはいけないし、その逆もだめだといふ言い伝えが残っている。

後期旧石器時代の人々は、ナウマンゾウを追いかけると、食料確保のための移動生活をしていいたと思われる。今の市中心部は、当時は湖だったと考えられているが、そうすると乱場堂は、落葉広葉樹に覆われた湖畔に位置していた(市指定天然記念物である関屋山の神社のブナ林が好例)。出土した石器の数からすると、この場所は、日本で最も人口密度の高い所になると思われるが、積雪地帯であることが、かえって山野に恵みをもたらしたためだろう。

■猛暑に涼しい雪体験(8月4日/雪氷防災研究センター)



雪氷防災研究センター新庄支所の研究について、広く知ってもらおうと一般公開が行われました。参加者は、センターの活動紹介や世界最大規模の人工降雪システムを見学。30度を超える暑さから、一気に真冬を体験し、子どもたちは夏の降雪に大喜びでした。

■第2回日本の伝統まつりポスターコンクール開催!



全国各地の伝統まつりを対象に行われ、今年が2回目となる「日本の伝統まつりポスターコンクール」。65点の応募の中から優秀作品が選ばれ、新庄まつりに合わせて、8月24日に表彰式が行われました。大賞には、青森県八戸市の「八戸三社大祭」が決まりました。

■平和の祈りを込め平和都市宣言旗を掲揚(8月15日/市役所)



終戦記念日のこの日、世界の恒久平和を願い、平和都市宣言旗の掲揚式を開催しました。新庄北高の生徒4人の先導で参加者全員が「新庄市平和都市宣言」を唱和し、新しい平和都市宣言旗を掲揚。平和祈念の黙とうがささげられました。



■成人式で懐かしい笑顔に再会(8月14日/市民プラザ)

新成人の門出を祝う真夏の成人式が行われました。今年の新成人は492人で、式典には362人が参加。成人を代表し、齋藤悠さんが成人の誓いを述べました。式の最後に、各中学校ごとの思い出の写真や校長先生の激励の言葉を映したスライドショーが行われ、懐かしい校歌や写真に会場からは歓声があがりました。



■友好自治体・高萩市との児童交流で相互訪問

市では、茨城県高萩市と児童交流事業を行っています。7月28日～29日に、新庄市の児童が高萩市を訪れ、史跡の見学や高萩まつりに参加するなど楽しい時間を過ごしました(写真右)。8月17日～19日には、高萩市の児童が新庄市を訪問。そば打ち体験(写真左)や新庄市の児童と一緒に芋煮会をするなど交流を行い、夏休みの思い出を作りました。

しんじょう
まちかど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS

■新庄まつり最終日に「東北三県福
興祭」を開催(8月26日)

東日本大震災の復興を祈念し福を興し
たいと、被災地の岩手・宮城・福島各県
の祭りが新庄で披露されました。参加
したのは、岩手県陸前高田市の「氷上
太鼓」、宮城県仙台市の「すすめ踊り」、
福島県南相馬市の「相馬野馬追」の三
団体。市内中心商店街でそれぞれの祭
りが見事に再現されました。

【陸前高田市・氷上太鼓】



【仙台市・すすめ踊り】



【南相馬市・相馬野馬追】



TOPICS
まちかど



■満100歳のお祝いで佐藤正さん(飛田)に賀詞と記念品を贈呈(8月28日)



■第15回県ジュニア駅伝大会で男女
とも6位入賞の快挙(8月5日/蔵王坊平)

男子/松本陽明(日新中3年)・石川創太(日
新小6年)・高橋一輝(日新中3年)・齋藤優樹
(沼田小6年)・五十嵐譲(日新中3年)
女子/石川涼音(日新中3年)・梁瀬芽生(沼
田小6年)・矢作真穂(日新中2年)・新田美麗
(泉田小6年)・矢口和佳奈(日新中2年)



■コミュニティ助成事業で升形青少年
育成会がお祭り備品を整備

コミュニティ助成事業は、財自治総合センターが宝くじの普及
広報事業費を財源とし、地域社会活動に対して助成を行うも
のです。今年は升形青少年育成会が250万円の助成を受け、
法被などお祭り備品を整備しました。25年度の申請は未定で
すが、助成を希望する自治会などはお問い合わせください。

◎総合政策課地域支援室 ☎内線217



3



2



1

1 こども夏のついでで大型
紙芝居などを披露

(7月31日/市立図書館)

2 市民盆踊り大会

(8月10日/ゆめりあ)

3 BS特別番組の企画として
廃材で作ったエコアート山車
を運行(8月26日/中心商店街)

9月の おしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

「親子方式」学校給食 調理・配送業務受託業者募集

- 委託開始 平成25年4月1日～
 - 業務内容 市内5小学校で調理し、中学校へ配送する「親子方式」で実施する調理・配送業務
 - 募集期間 10月2日(火)～5日(金)
- ※募集要領、仕様書、様式集は学校教育課で配付するほか、市のホームページからダウンロードできます。なお、業者選定は、入札金額だけでなく、地元からの雇用などに関する提案(プロポーザル)方式で行います。
- ◎詳しくは、学校教育課へ。 ☎内線442

体育施設調整会議の お知らせ

- 定期使用の調整会議です。
- 申込締切 9月24日(月)
 - とき 体育館分／10月9日(火)、野球場分／10月10日(水)、武道館分／10月11日(木)
 - ※時間はいずれも午後6時30分～
 - ところ 市体育館
- ◎詳しくは、市施設振興公社へ。 ☎23-7666

平成24年度後期 すばーていあ施設利用調整会議

- 調整期間 11月1日～来年3月31日
 - 申込締切 9月24日(月)
 - とき 10月9日(火)午後6時30分～
 - ところ すばーていあ
- ◎詳しくは、すばーていあへ。 ☎23-1000

雪の里情報館から お知らせ

シャルロット・ペリアンと新庄展
～1枚の写真から～

20世紀のモダンイズムデザインに数々の功績を残したフランス人、シャルロット・ペリアン。本市に残されていた彼女の一枚の写真をきっかけに、生前の本人から直接話を聞くことなどで明らかになっていった、彼女と本市との関係に焦点をあて、その功績を振り返ります。

▼とき 9月16日(日)～12月2日(日)▼ところ 雪の里情報館

オープニング記念シンポジウム
▼とき 9月16日(日)午後1時30分～▼内容 畑由起子氏(ベリアン研究者)、結城登美雄氏(民俗研究者)、菅沢光政氏(元天童木工)の鼎談など

※詳しい内容は市のホームページをご覧ください。

石渡三津雄写真展

▼とき 9月25日(火)まで
▼ところ 雪の里情報館

第65回市民雪セミナー

▼とき 9月23日(日)午後2時～3時30分

▼ところ 雪の里情報館

▼内容 笹壁弘嗣氏(徳洲会新庄病院院長)による講話「健康熟年ライフの秘訣教えます」

※いずれも参加無料。

◎雪の里情報館 ☎22-7891

ゆめの根っこ塾開講 ～地域を見つめふりかえる～

刻々と変化する中で改めて地域を感じ、地域を見つめ直すきっかけづくりの講座を開催します。(全4回)

▼開催日と内容 10月25日(木) / 開校式・新庄最上地域の医療課題について、10月31日(水) / 二胡演奏・県美展入選者鑑賞講話、11月14日(水) / 新庄最上

市民体力テストの お知らせ

地域の農業諸事情について、11月21日(水) / 新庄の先人たち ※時間はいずれも午後6時30分～(10月31日のみ午後2時)▼ところ 市民プラザ

▼受講料 全受講で一人1,000円(1講座500円)で個別に受講も可能

▼申込期限 10月15日(月)

◎市民プラザ ☎22-4200

▼対象 概ね20歳から79歳の方向
▼とき 10月6日(土)午前9時～11時30分▼ところ 山屋セミナーハウス▼内容 握力、上体起こし、6分間歩行などを測定し、運動能力や体力年齢を判定します。結果は測定終了次第お渡しします。▼持ち物 履き、タオル、飲み物

※参加無料、事前申込不要

◎市体育協会 ☎23-2978

市民相談室から お知らせ

法の記念日無料法律相談会
▼とき 10月1日(月)午前10時～午後3時▼ところ 市民文化会館1階第3練習室

▼応対 県弁護士会新庄支部 行政相談所開設

▼とき 10月1日(月)午前10時～午後3時▼ところ 市民文化会館1階第2練習室

▼応対 行政相談委員

◎市民課市民相談室 ☎内線1255・26

歯の長寿者を 表彰します

▼資格 満80歳以上(平成24年12月31日現在)で自分の歯を20本以上持つ(元気な方(過去に受賞した方を除く))▼応募方法 市内歯科医院で残歯数のチェックを受けてください(無料)

市卓越技能者表彰 推薦をお願いします

●対象 市内在住の50歳以上の技能者で経験年数が20年以上あり、卓越した技能を持ち、現職または後進の指導に務めている方 ●推薦方法 各団体の長から推薦書を提出していただきます。

●推薦受付 9月30日(金)まで

◎詳しくは、商工観光課商工振興室へ。 ☎内線253・258

9月中撮影の方限定
早撮りキャンペーン開催!!
【レンタルパックより30%OFF!!】



ご予約・お問い合わせは... ☎22-8067
フォトスタジオミヤギ 担当・阿久津(あくつ)

七五三



オトク♪

★早撮りならではの特典★

その① 10月、11月お参り時お着物無料貸出 & 着付けも無料
その② 「市報見ました」の合言葉で、和柄カードケースにお好きな写真を入れてプレゼント!

レンタルパック	通常価格	キャンペーン価格
三歳用	¥19,500 <small>税別</small>	¥13,650 <small>税別</small>
五歳用	¥24,000 <small>税別</small>	¥16,800 <small>税別</small>
七歳用	¥31,000 <small>税別</small>	¥21,700 <small>税別</small>

○レンタルパックの内訳
着物一式・着付・ヘアメイク・六切り写真2ポーズ付き

南フランス料理教室開催

- 9月24日(月)午後5時～
- 市民プラザ調理室
- 材料費2,500円 ○講師 笹美知子さん
- 申し込み 9月22日(出)まで電話で
- 事務局・笹 ☎22-2086

弁護士による住まいの無料法律相談会

- 9月20日(木)午後1時30分～4時
- 最上総合支庁505会議室
- 申し込み 9月19日(水)まで。先着4人
- 県営住宅指定管理者(株)西王不動産 ☎23-3116

不動産無料相談会開催

- 10月6日(出)午前10時～午後3時
- わくわく新庄 ※申込不要
- 社全日本不動産協会山形県本部
- ☎023-642-6658

催しなど

市民文化会館からのお知らせ

東北幻野第30回公演
「智恵子・千年の恋 光太郎のぼか」
●とき 9月29日(出)午後6時30分開演、
30日(日)午後2時開演 ●ところ 市民文化会館大ホール ●入場料 前売1,500円(当日1,800円)、高校生以下無料
※お求めは市民文化会館か、こらっせ新庄でどうぞ
杉田二郎・伊勢正三アコースティックライブ

●とき 11月9日(金)午後6時30分開演、7時開演 ●ところ 市民文化会館大ホール ●入場料 前売指定4,500円、前売自由4,000円(当日はともに500円増し)
※お求めは、市民文化会館、市民プラザ、(株)田澤、丸井八文字屋、こらっせ新庄、ローソンチケット(Lコード27798)でどうぞ。
◎詳しくは、市民文化会館へ。☎22-7029

エコロジーガーデン 原蚕の杜フェスタ

●とき 9月23日(日)午前10時～午後3時
●ところ 新庄市エコロジーガーデン
●内容 kitokitoマルシェ、木工クラフトショップ、羊毛クラフト展示、宝探しウォークラリーなど楽しい催しが盛りだくさん。
※kitokitoMARCHEの出店要領などはホームページ(kito-kito.tumblr.com/)をご覧ください。
◎詳しくは、商工観光課観光交流室へ。☎内線251

第50回 新庄ロードレース大会開催

●とき 10月7日(日)午前9時開会(雨天決行)
●ところ 市陸上競技場 ●種目 男子(高校・一般)／10km・5km、中学男子・女子(高校・一般)／3km、小学生男女(3～6年)／1km ●参加費 小・中学生500円、高校生・一般700円 ●申し込み 所定の申込書で9月28日(金)まで生涯スポーツ課へ
◎詳しくは、生涯スポーツ課へ。☎内線471

第34回 市総合体育大会のお知らせ

①開催日、②会場、③申込締切、④問い合わせ
ハンドボール ①10月21日(日) ②市体育館 ③10月12日(金) ④新庄地区ハンドボール協会・大場 ☎22-1698
合気道 ①10月28日(日) ②市武道館 ③10月15日(月) ④合気道新庄道場・伊藤 ☎23-2306
◎詳しくは、各問合わせ先へ。

▼とき 9月23日(日)午後1時～4時 ▼ところ 山形ビッグウイング大会議室(山形市)
▼内容 俳優の柳浩太郎氏による特別講演など

県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会について

▼とき 9月23日(日)午後1時～4時 ▼ところ 山形ビッグウイング大会議室(山形市)
▼内容 俳優の柳浩太郎氏による特別講演など

ファミリーサポートセンター もがみ10月からスタート

▼とき 10月26日(金)
※11月17日(土)の「8020表彰・むし菌サミットIN新庄」で賞状と記念品を授与します。
◎健康課健康推進室 ☎内線513

▼とき 10月2日(土)午前10時～11時30分 ▼ところ 市保健センター
▼内容 思春期保健相談士 大場恵子氏(元県立新庄病院)

子育て講演会開催

▼とき 10月6日(土)午前9時～午後2時 ▼ところ 鮭川村エコパーク ▼内容 講座「家庭の中の男女共同参画」、パウムクレーンづくり ▼参加料 大人300円、子ども200円(1歳未満無料) ▼申込期限 9月26日(水)先着20人
◎NPO法人オープンハウスこんべいとう ☎29-2301

男女共同参画県民企画事業 こんべいとつ広場開催

▼とき 10月6日(土)午前9時～午後2時 ▼ところ 鮭川村エコパーク ▼内容 講座「家庭の中の男女共同参画」、パウムクレーンづくり ▼参加料 大人300円、子ども200円(1歳未満無料) ▼申込期限 9月26日(水)先着20人
◎NPO法人オープンハウスこんべいとう ☎29-2301

▼とき 9月23日(日)午後1時～5時 ※出展物が無くなり次第終了 ▼ところ ゆめりあ
▼出展物募集 9月20日(木)まで ※収益金は「やまがた被害者支援センター」などに全額寄付します。
◎新庄警察署警務課 ☎22-0110

犯罪被害者支援 チャリティバザー開催

▼とき 10月6日(土)午前10時～3時 ▼ところ わくわく新庄
※申込不要
◎社全日本不動産協会山形県本部 ☎023-642-6658

不動産無料相談会開催

▼とき 10月6日(土)午前10時～午後3時
◎社全日本不動産協会山形県本部 ☎023-642-6658

▼とき 9月23日(日)午後1時～5時 ※出展物が無くなり次第終了 ▼ところ ゆめりあ
▼出展物募集 9月20日(木)まで ※収益金は「やまがた被害者支援センター」などに全額寄付します。
◎新庄警察署警務課 ☎22-0110

国民年金 任意加入制度について

老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。なお、老齢基礎年金を受給するためには、保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます。また、海外に在住する日本国籍の方も国民年金に任意加入することができます。

任意加入制度について

老齢基礎年金は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。国民年金保険料の納め忘れなどにより、保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。なお、老齢基礎年金を受給するためには、保険料の納付済期間や保険料の免除期間等が原則として25年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます。また、海外に在住する日本国籍の方も国民年金に任意加入することができます。

ヤマハ 音楽教室 秋(10月)編入クラス

9月見学会実施!

1才のおとのおもちゃばこ (平成22年度生まれ) **25日(火) 10:30~**

2才の赤りんごコース (平成21年度生まれ) **14日(金) 21日(金) 11:00~**

Tazawa 音楽センター 新庄市大町2-23 ☎22-2757

夏の紫外線で傷んだ髪&頭皮ケアに!
毛穴の奥の汚れまでスッキリ、顔まで洗えるシャンプー

LisBlanc
めどきシャンプー

こんな方におすすめ
★抜け毛が気になる方 ★頭皮や額が脂っぽい方
★フケ・かゆみなど頭皮トラブルでお悩みの方

(有)フレンズ薬局 新庄市鉄砲町6-3 ☎(23)2722
フレンズ調剤薬局下田店 新庄市金沢2397 ☎(28)8370



佐吉爺の

子ども遊び あれこれ



自然豊かなふるさと新庄。昔の子どもたちはこの自然を活かし
さまざまな遊びを見出し、日が暮れるまで野山を駆け回って遊んだ。
現代ではなかなか見られなくなった、爺の子ども頃の遊びを
季節に合わせて紹介します。文:伊藤佐吉さん(仁田山)

かぶと虫 子の夏休み 宝物

一年間は早い。もう九月、暦の上では
長月である。六月二十一日の夏至を過
ぎてから、大分日も短くなった。朝晩
には少し涼しさを感じる季節。カヤの
穂も首を出し、秋の気配が見えてくる。
新庄は一番早い秋となる。郷土文化、新
庄まつりも終わり、暑、夏も過ぎ田ん
ぼの稲穂も黄金に波打つ。今年も上作、
実りの秋だ。

爺が子どもの頃の遊びは、日本国皆
兵隊ごっこ。自分で木の枝を刀や鉄砲
の形に作り、四、五人集まり神社の前
で相手と戦う。切られたら倒れるので
少々痛い。頭や顔にコブができて平
気であった。これが男子たちの遊びで
あった。

カブト虫を集めて相撲をさせたり、
角のある虫を糸で結んで振り回し、羽
根を出してぶんぶんどぶつけた。昔は
外灯の下に行く、何匹も羽根を出
して集まって来たので捕まえて遊んだ。



▲ふるさと歴史センターには、カジカを捕る道具も展示されています。ガラス箱も大小あり、隅にカンテラを置けるように作られているものもありました。

子どもの頃は、家の前にぬか堆肥があ
り、その中を掘ってみると、親指くらい
の太さのマゴトラ虫(カブト虫の幼虫)
が何十匹もごろごろとしていた。捕ま
えて一週間ぐらいで成虫になった。今は
村の近くに雑木林も無く、虫や小鳥
も巣を作る場所が無くなった。カブト
虫は珍しくなり、今は店で売っている。
九月一日は昔から台風の日、風日ま
つり。村の爺様たちは、村神を参拝し
無事を祈った。九月二十日強い風が吹
く、秋台風が一番と困る。昔は天気予
報もなく、何百年の言い伝えに従って
いた。子どもの頃は強い風が吹くと、朝
早く起きて落ちた早生ナシ拾い。隣の
家は甘いぞ、隣はすっぱいぞと三人も
集まる。「やろ、いさ早いな」と言いが
ら三軒も回って家に帰ると、「がっさこ
遅れぞ」と叫ばれたこともあった。

九月といつても、まだ残暑の日もあ
つた。川の水は少々冷たかったが、川遊
びでカズカ(カジカ)つきもした。高学
年になると、萩野のお寺大工さんに頼
んでガラス箱を作ってもらった。学校か
ら帰ると、箱を首から下げ、ヤスを持
ってカズカつき。川の水も多かったし、水
もきれいで飲んでも大丈夫だった。今
は水無し川である。

秋の彼岸も終わると、夜は寒さを感じ
るようになる。今は、軒下でゴオロ
ギヤスイツチヨンの鳴く声も聞こえな
くなった。田んぼも除草剤で、イナゴ
も虫も少なくなった。

秋彼岸 空もしみいて 池の鯉

※「子ども遊びあれこれ」は今月で終了します。次号から佐吉爺の新シリーズが始まります。

表紙の 写真

華やかな山車に拍手喝采 ～新庄まつり～

8月24日から26日までの3日間、今年も
新庄まつりがにぎやかに開催されました。
期間中は天候にも恵まれ、また日程が週
末と重なったこともあり、3日間をとおして
大勢の観客でにぎわいました。24日の宵
まつりでは、ライトアップし、一層華やかさを
増した20台の山車が運行され、集ま
った多くの観客を魅了しました。



7 月末現在の新庄人

38,580人 (39,105人)
女 20,287人 (20,554人)
男 18,293人 (18,551人)
世帯数 13,713世帯 (13,750世帯)

7月の異動

出生 18人 (25人)
死亡 38人 (34人)
転入 72人 (103人)
転出 70人 (105人)

※7月より住民基本台帳法の改正で外
国人を含む人口集計になりました。
()は1年前の日本人+外国人の数です。